



JAL不当解雇撤回ニュース

No494 号 2016.07.05
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

JAL 株主総会 IN 舞浜



6月22日10時から千葉県浦安市舞浜アンフィシアターにて、JAL第67期定時株主総会が開催されました。争議団と支援者87名は小雨が残る8時半から舞浜駅前で宣伝行動を行い、争議への支援を訴えました。分かりにくい会場への道を尋ねる人のほか、駅からの人の流れは、ほとんどがデズニーランド&デズニーシーに向かう人たちで、JALの争議を知らない方へのアピールもできました。株主総会への参加者は昨年より430名少ない674名で、12名の質問者のうち5名の支援者と1名の原告が指名されました。一般株主からの安全や解雇問題への質問が目立ちました。植木社長は「165名の整理解雇者のほか17,000名の希望退職者にJALを救って頂いた。株主や債権者にもご迷惑をかけた。165名だけを戻すつもりはありません」と不当な答弁を行いました。

Q1 重大インシデントが続いている。安全は人材と技術が支えるもの、安全の観点からも争議を解決すべきではないか？

A 訴訟は最高裁で決着済み、技術の伝承は残った者で頑張っている。

Q2 パイロットの流出は何人か？CAも大量に退職していると聞く。これでは安全とサービスは守れない。人材が足りないなら解雇者を戻すべき。

A 前年度機長90名副操縦士90名が辞めたが、現在は落ちついている。理由はいろいろ。経験者が新人を充分教育しているし、サービスは評価を受けている。安全に不安があるという認識はない。

Q3 エンジントラブルが続いているのはなぜか？役員候補の菊山氏は破綻の一因である燃油ヘッジ1900億の損失の責任者である。昇格は不適切ではないか？

A 一年を通じてみると多いわけではない。役員人事は指名委員会で諮問し役員会で決めている。燃油ヘッジに関わっていたとしても責任者ではなかった。

Q4 部門別採算性は自分のところだけで全体が見えなくなる弊害があり、止めた経験がある。整備では部品をケチり時間もかけられなくなる。止めてほしい。

A JALフィロソフィ“利他の心”で他部門のことも考えよう、別のモニタリング指標を持っている。

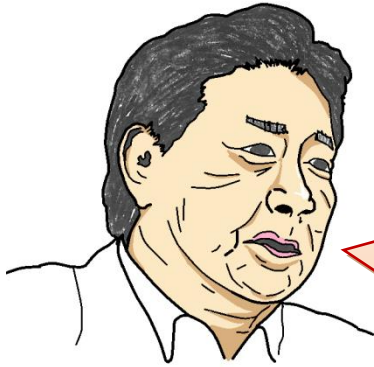
Q5 従業員数が1年で452名増のみ。ANAはJALより902名も多い。人が集まらないのではないか。ベテラン解雇者を戻して。

A 採用に困っているとか人が集まらないという認識はない。解雇事件は既に回答している。

Q6 サービスは評価されているとの答弁があったが、顧客満足度の再利用意向が国内線は5位である。テロの標的となる軍事輸送はしないほしい。

A 国際線は1位だ。国内についてはヒューマンサービスが十分でないの見直し中。定期航空協会を考えを持っており、明らかな軍事利用には協力しない。

植木社長：「私には“安全という血”が流れている」



22歳で入社し35年間パイロットとして最前線でやってきた。退任する整備出身の佐藤副社長もそうだ。現場を担ってきた者が経営のトップでやっている。安全を蔑ろにすることはない。信用していただきたい。

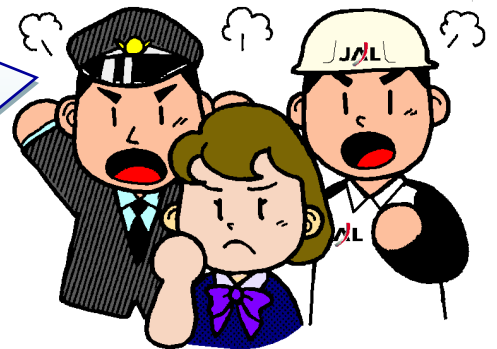
最高の社員に囲まれて幸せだ。破綻以降33000名になったが、スクラム組んで世界一のサービスを目指している。社員・人材が一番の財産である。

しかし、その実態は・・・

2012～2016年中期計画の3目標「安全」「顧客満足度NO1」「財務目標」のうち安全は1度も達成されていません。これは利益最優先の表れではないでしょうか。

さらに高稼働・過密勤務・低賃金が離職に繋がっています。そして採用をしても、経験者は育たずサービスは低下し、安全の層は薄くなるばかりです。

企業理念で“社員の物心両面の幸せ”とうたいながら、社員は会社から大事にされていないと感じています（夏闘アンケートより）。そんな思いの社員が世界一の航空会社をめざして働けるのでしょうか。もはや社員の中にはJALブランドはありません。



2015年度営業利益は2091億円と史上最高を更新しました。今、JALに求められているのは解雇したベテランを職場に戻し、全ての争議を解決し安全運航の基盤を確立させることです。



閉会前、18歳で入社以来整備一筋で安全を守ってきた佐藤副社長に退任挨拶を促した時、乗員山口団長が「我々だって安全を守ってきた！一緒でしょう！我々は首切られたんですよ！55歳以上の機長という事で！同じじゃないですか！」と大声で訴えました。また、株主総会に毎年参加されている女性支援者の「165名のベテランを職場に戻してください！」というアピールも会場内に響き渡りました。

